



我孫子市LINE公式アカウント友だち募集中！  
二次元コードを読み取るか、LINEの「友だち追加」でID[@abiko\_city]を検索して追加してください。市からのお知らせなど、欲しい情報を選べます。メール配信サービスと同じ情報も配信します。



アプリ「マチイロ」  
マチイロ(二次元コードからダウンロード可)で広報あびこが閲覧できます。

旬の食材を食べて地産地消を推進！

あびこん たけのこフェア

日 4月18日(金)～20日(日)①9時30分～18時②10時～14時③11時～17時※ラストオーダー…食事14時、飲み物16時30分

所 ①あびこ農産物直売所あびこん ②手賀沼親水広場多目的広場 ③レストラン「旬菜厨房 米舞亭」

内 ①新鮮たけのこ、たけのこの総菜・ピザなどの販売 ②竹とんぼ作り、竹ぼっくり・竹馬体験 ③たけのこ御膳(たけのこご飯・天ぷら、汁物など)

問 あびこ農産物直売所あびこん ☎04-7168-0821



杉村楚人冠記念館インフォメーション

55th 資料虫干し作業風景公開

日 4月27日(日)9時～15時

所 杉村楚人冠記念館

内 楚人冠が読んでいた物語書籍など、約50点の虫干し作業を公開(申込不要)

費 入館料※晴天時は入館せず屋外からの見学も可



▲市HP



55th 楚人冠講座「楚人冠と芸術」

日 5月11日(日)10時～11時

所 アビスタ

内 開催中の春季企画展「楚人冠とアート」から、楚人冠と芸術の関わりについて学芸員が朗読・解説します。

定 先着30人

費 無料

問 図書館アビスタ本館 ☎04-7184-1110

◎春季企画展ガイド

講座後に徒歩で移動し、学芸員による春季企画展ガイドを1時間程度行います。

所 杉村楚人冠記念館

内 講座受講者(申込不要)

費 入館料



河村靖山 置物「鳩」

入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下無料)

問 杉村楚人冠記念館 ☎04-7187-1131

我孫子の景観を育てる会のガイドと楽しく散策

55th 我孫子のいろいろ八景歩き

将門伝説の地と中里市民の森を  
行くコース(約4.8km)

日 5月10日(土)9時30分～12時

所 湖北駅改札前集合・北口解散

内 湖北台中央公園沿いのケヤキ並木、中里市民の森、将門神社、日秀観音、中里通りなど



▲将門神社

高野山台地の八景と古墳を  
巡るコース(約4km)

日 5月24日(土)9時30分～12時

所 天王台駅南口階段下集合・解散

内 日立アカデミー我孫子キャンパス周辺、日立坂、水神山古墳、前原古墳、高野山桃山公園など



▲高野山桃山公園

〈共通〉 ※小雨実施、荒天中止

定 20人(抽選) 費 無料

問 4月30日(水)までにちば電子申請サービスまたは都市計画課 景観推進室 ☎04-7185-1529

ちば電子申請サービス



図書館員が選ぶこの一冊 No.84

『老後の資金がありません』 中央公論新社 垣谷 美雨/著

娘の結婚、舅の葬式、姑への仕送りで、こつこつ貯めた老後の資金が消えていく。さらに、夫婦そろってリストラされ、大ピンチの後藤家。篤子は、節約のために姑との同居を決断する。不安ばかりの毎日、友人のサツキと家計の話をしては、今までの支出が本当に必要だったのか思い悩む。ある日、サツキから「姑を貸してほしい」と依頼される。戸惑う篤子をよそに、姑は引き受けてしまい……。



家族に振り回されながら奮闘する篤子の姿は、状況に応じて生活を変えていくことの大切さを教えてくれる。これからの自分に合った暮らしを考えたい一冊。



消費生活センターだより 149回

「〇〇ペイで返します」と言われたら注意！

事例 インターネット通販で大幅に値下げされた財布を注文し、個人名義の口座に1万円を振り込んだ。その後、業者から「在庫が欠品している。〇〇ペイで返金するので無料通話アプリに登録するように」と言われ、指示されるまま数字などの入力を繰り返した。気付いた時には10万円送金させられていた。



インターネット通販で「欠品のため〇〇ペイで返金する」と言われても安易に応じないでください。購入時に使用していない決済アプリを、返金に使用するという案内は極めて不自然です。相手の指示に従ってスマホなどを操作せず、消費生活センターに相談してください。

相談受付 消費生活センター(アビイクオーレ2階<イトーヨーカドー我孫子南口店>) ☎04-7185-0999(月)～(金)、第2・4(土)10時～17時30分)



まち活ライターの

「あびこ」みつけ 第11回

問 市民活動ステーション ☎04-7165-4370

高野山桃山公園

JR天王台駅から徒歩約15分の高野山桃山公園は、お気に入りの公園の一つです。公園に入ると、一面の芝生が目飛び込み、奥へ進むと手賀沼が一望できます。朝は太陽の光でさらさら光り、夕暮れ時は赤く染まる手賀沼は、ずっと見ても飽きません。



春はたくさんの小鳥の音が聞こえ、夏は湧き水を使ったピオトープでザリガニを釣る子どもを見かけます。秋はドングリがポトッと落ちる音に驚かされるなど、自然豊かで、いつ訪れても四季の移ろいを楽しむことができる公園です。

まち活ライター 外園若菜